



松木支部長

新型コロナウイルス対応 特別編集

コロナウイルス感染症に思う

支部長 松木 茂夫

恒例年末懇親会の中止のお知らせとお願いについて（8面にご案内）

新型コロナウイルス感染症が依然として拡大しており収束状況が不透明な中、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。生活環境が一変して不自由な生活を強いられているものと拝察しております。

緊急事態宣言は解除され、自粛制限が緩和され、国の景気需要喚起策として「GO TOキャンペーン」等が本格化し、感染拡大防止策の徹底と社会経済活動の両立が叫ばれている中、ウイズ・コロナ時代への新しい生き方を模索する政府と企業・そして我々一人一人がコロナ禍にどう向き合うかを具体的に行動していくことが重要になってきました。

ウイルスそのものが収束するわけではないため「三つの密」を避け、感染症対策分画会が（2020.10.23発表）明示した感染が広がりやすい「高リスクの5場面」を守りつつ、感染するリスクの軽減に心掛けていきたいと思っています。今世界各国で開発中の有効な治療薬とワクチンが実用化され、一日でも早く安心した生活ができるようなれば良いと願っています。

今年の支部活動は役員会を含め各種行事を含め全て中止と致しましたが、参加者の安全と安心を最優先で考えての苦渋の決断を致しました。役員会は原則メールでの書面審議とし対面を避けて実施しています。

収束状況が不透明な中、来年度以降の役員会・総会・懇親会・各種行事等は参加者の安心・安全を考慮し慎重に検討していきたいと考えています。

大学・学会等の各種行事も延期や中止が継続されております。何よりも大学は閉鎖されており入校も制限されています。学生諸君も4月入学後も一度もキャンパスに入らず授業もオンラインで実施されています。10月以降は一部対面授業開始されていますが、一日でも早く平常に戻ることを祈るばかりです。

一方で「古豪中大」に復活の勢い一箱根駅伝＝立川予選で堂々の2位本戦上位予想も、このタイトルで記事掲載致しましたが久々の明るい話題がありました。来年1月2日・3日が楽しみです、残念ながら無観客となりましたので皆さんテレビ観戦で応援して頂きたいと思います。

ウイズ・コロナ時代になり見えないウイルスと共存していかなければならず、オンライン・インターネット・キャッシュレス等の利用を現実として受入れ、新しい生活様式の定着の為、私達自身に大胆な意識改革が必要となりました。

このような環境下で会員相互の交流・情報交換等をどうすべきか悩みましたが、「三つの密」を避けて、唯一の方法として支部会報の発行と支部Hpの継続を実施する事と致しました。

■ 大学の近況

学校法人中央大学は新理事会が開催され、理事長に大村雅彦先生が再任され、又総長に酒井正三郎先生、学長に福原紀彦先生が再任されました。



為、入学式が出来ず新入生への棟」が建設されているとのこと。メッセージ動画が本学公式web 法学部の都心展開は文京区大塚にサイトで掲載されました。授業、移転することが決まった。期末試験もオンラインで実施。

多摩キャンパスの一角に「グ 年度までに完了させ、専門職大学ローバル館」が開設され大学の創 院法務研究科及び戦略経営研究科立者と大学史に関するグラフィックを移転させ、教育研究施設として、全学的な利用施設に生まれ変わる。（事務局長 岩淵義昭）
2021年4月開校に向けて学部横断的な研究施設となる「学部共通

新型コロナウイルス感染症の

農耕接触はありますが、3密は無しです！！

吉村 猛彦 (H7年卒)

皆様、こんにちは。元気でお過ごしでしょうか。昨年末に開催されました懇親会の時には、まさかこのような世の中になるとは思ってもいませんでした。1日も早くコロナが終息することを願うばかりです。

私は、月曜日から金曜日は会社へ出勤していますが、毎週土曜日は横浜市神奈川区の農家の作業のお手伝いをしています。元々のきっかけは、神奈川新聞に掲載されていた「畑で野菜を育てる講座」に昨年参加をしました。その時に横浜の農家では、後継者不足



が深刻な問題であることを知りました。そのため、微力ではありますが、少しでも農家のお手伝いをしてお役に立ちたい、また、野菜作りを学んでみたいという思いから参加を決心して現在に至っています。

私が入会している会の名前は「かなっば畑の会」です。創設は2014年12月。活動は、毎週土曜日と月曜日ですが、私はまだ現役なので土曜日が主な活動日です。会員数は50名余。また、毎週土曜日の10時から畑の横（横浜市神奈川区神大寺のmkファーム）で、獲れたての野菜を販売しており、地元で大好評を頂いています。8月2日（日）にも販売会を行い、多くの来客でにぎわいました。

今は、諸先輩方から、作業の指示を仰いでばかりですが、土づくりや野菜の特徴を学び、少しでも横浜の農業の発展に貢献したいと思います。

ご参考に：左写真ご参照ください！！

！！コロナ禍の過ごし方 (コロナ騒ぎと経済)！！

茂岡 幹弥 (S53年卒)

今般の新型コロナ騒ぎについて一言。

今年に入って中華人民共和国発の新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るいそれにつれて毎日のように大手メディアの報道ではコロナウィルスの感染者情報が発表されています。

9月22日の感染者状況では感染者79571人、重症者163人、死亡者1514人となっています。

しかし少し深く考えてみると通常、毎年インフルエンザで約3千人の方が亡くなっており関連死を含めると約1万人と言われております。それに比較して新型コロナウイルスの死亡者は9月23日時点で約1514人、インフルエンザ死亡者の約1/2です。ごく普通に考えると何故世の中がこんな騒ぎになっているか不思議です。ところがワイドショーでは毎日コメンテーターや感染症専門家がコロナ



ウィルスを煽り続けて国民に極端な社会不安を煽り続けています。

TV局は視聴率欲しさに飽きもせずこのような報道を続けておりますが報道を真に受けた視聴者はたまったものではありません。

様々な感染症専門家や医師がこのコロナウィルスについて専門家の立場から感染症対策について議論百出、甲論乙駁の状態ですが、或る感染症専門の関西K医師によれば日本におけるコロナウィルスは、ヨーロッパで蔓延している強毒型のウィルスと違い日本型は弱毒型のウィルスであり、日本人の大部分に免疫（T細胞免疫）が獲得出来ているとの分析結果を発表しており、この結果は安倍前首相の元にも届けられているとのことなので、日本での感染状況が欧米と比べて極端に低いのはこのような分析の状況によるものと思われる。

但し、もちろん来年に延期されました東京オリンピックで海外から多くの強毒型ウィルスが持ち込まれたら話は別ですが。

気を付けるべきは高齢者や持病持ちの方への対策であって某K知事のように十把一絡げにして一律に自粛要請をすることにどんな意

味があるのでしょうか。それよりも日本の経済が再起不能になることの方がもっと恐ろしいことです。

過去の統計によれば不況時と好況時の自殺者数が正比例している（それも数千人単位で）ことを考えれば政策としてどちらに舵を切るかは自明の理だと思います。但し今回のコロナ禍で良い意味で世の中が変わりつつ有ることもまた事実です。

例えば在宅勤務により東京一極集中から地方や田舎に移住する人が増えて地方が再活性化するだろうとの予測や通勤ラッシュや交通渋滞の緩和、介護や子育てがやり易くなること等良いことも多くあります。なのでこのコロナウィルスについては「正しく恐れ」ながら極端な自粛をすることなく経済を回して日本がまた再活性化することが急務だと思います。

最後に、それにしてもこのコロナ騒ぎを煽り続けた大手メディア及び出演したコメンテーターや自称感染症専門家と東京都のK知事には経済の落ち込みに対する責任を取ってもらいたいと思うのは私だけでしょうか。

スキューバダイビング

清水 雄一 (S46年卒)

古くから親しくしているスキューバダイビング同好の友人がALSを発症してしまいました。この病は全身の筋肉が徐々に動かなくなってしまう難病で、後には人工呼吸器等を付けることになる様な今でも根治薬のない病です。

私はそれと知った折には少なからずショックを受けましたが、それでも彼はここ1～2年の間次々に動かなくなっていく体で仲間達のさり気ないサポートを受けながらも、何とかダイビングに挑戦してきました。

そして、今年春先までは仲間達と海に行っては、動く片手だけで笑顔で大いに食べ、語り、笑い、明るく活動していました。

しかし、症状の進行具合やコロナ禍も鑑み、私達仲間の有志は今秋が彼の最後のダイビング・チャンスなのではないかと考え、この計画を喜んでくれた彼と、ご長男・次男夫婦(この為にライセンスを取得して)に



も同行いただき週末に西伊豆の海辺のコテージに出かけました。

今では首と目と口しか動かせない彼と共にダイブするのは諸準備やリスクを考えると、私達にとっても簡単なことではありませんでしたが、無事成功した。二日にわたる海底散歩を「すごく気持ち良かった～」ととても喜んでくれました。

夜は十分なディスタンスとりながらもBBQの火を囲み、今まで通りの友人として遅くまで良い時間を過ごす事もできました。

本来明朗快活でとても前向きな人だけに、彼の楽しそうな笑顔を見ながらご自身のこれからの仕事や生活、介護負担などをきくと懸念されているであろう事、本人しか分からない多くの葛藤があるであろう事を思い、「辛い中にも幸せはあるんだよ！」と語る彼とご家族の心身の安息を願わずには居られませんでした。

一方で友人として何もできない歯がゆさを心から思い、自分は年相応・人並みの生活がして居られるありがたさを彼やご家族から教えて貰えたツアーでした。

！！中央大学の思い出！！

村上 洋子 (S45年卒)

昭和41年に中央大学に入学しました。

小田急線の代々木上原近くのベトナム大使館の隣が香川県東京女子学生寮で私の寓居になりました。

入学式の日、宇都宮女子高出身の、みち子ちゃんとお友達になりました。当時、大人気の木の実ナナに似たカッコいい女の子でした。四

国の高松出身の私は訛に劣等感を持っていました。みち子ちゃんの言葉が標準語と信じて、イントネーションを真似したりしました。ある日、サークル仲間から「北関東の出身？」と聞かれました。みち子ちゃんは栃木訛りだったことに気づきました。私は訛りを真似るのが得意だったのでしょか。

大学の4年間はストライキは年中行事でした。一年生の時は学生会館管理運営をめぐりスト突入、二年生の時は授業料値上げ反対でスト突

入、後に白紙撤回。三年生の時は常置委員会設置問題で大衆団交全学封鎖スト突入、封鎖解除後も授業再開できず。四年生の八月になって多摩校地でプレハブ校舎で授業再開。卒業式は、出来ないまま社会に巣立ちました。

あの激動の中で大学のあり方を学生たちは根本的に問い掛けたのです。私学では解決できなかった問題ではあったと思いますが、当時の学生からの問題提起は決して無駄でなかったと思います。

中央大学「川崎支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します(卒年順に掲載)

アイコンテクノ (株) (町田市森野1-37-10) 代表取締役会長 金子 和夫 (昭和34年卒)	東京エクセル法律事務所 弁護士 石渡 光一 (昭和36年卒) 電話03-3503-0921	オフィス19 人生100年 皆様囲碁をどうぞ (044-932-1035) 酒巻 忠雄 (昭和39年卒)
NPO自転車環境創造ネットワーク (東京都港区芝大門2-1-18) 理事長 森山 功 (昭和40年卒)	光洋重機建設 (株) (川崎区田島町13-13) 代表取締役 光常 武二 (昭和43年卒)	協親自動車 (株) 顧問 川崎市高津区北見方3-8-5 松木 茂夫 (昭和44年卒) 中央大学評議員・学員会常任幹事

◎「古豪中大」に復活の勢いー箱根駅伝

＝立川予選会で堂々の2位、本戦は上位予想も

「箱根駅伝」（以下箱根）が近づいた。コロナ禍でスポーツイベントが相次ぎ中止になる中、白門OB希望の「箱根」が開催となる。正月2日午前9時過ぎ、選手たちが六郷橋を渡って神奈川県に入り、翌3日昼、再び六郷橋から東京へ戻るまで全コース（217キロ）の大半を県内で熱戦を繰り広げる。この二日間、白門会川崎支部駅伝ファンは赤いCマークの白ランニングシャツを追い、応援に燃える。「上位は確実。その上も」が期待される来年の「箱根」展望をお届けする。

◆「小雨、低気温」の立川予選会

10月17日（土）予選会。陸上自衛隊立川駐屯地内の周回コースは早朝から小雨、気温10度という悪天候。藤原正和監督ら指導陣は「小雨まじり、低気温」の中で「落ち着いた選手たち」に笑顔を見せた。昨年予選会が高気温で選手が調子を崩し、やっと10位で本戦出場を果たしたことを思い起こした。午前9時35分小雨の中、全参加46校550人の選手が一斉スタートして行った。

◆10人中9人が63分切り

中大勢は森風也（3年福岡大大濠）、三浦拓朗（同西脇工）、1年生の吉居大和（仙台育英）が先頭グループに付く。3人は上位キープし、何度もテレビ中継にアップされた。吉居は61分47秒、全体10位でゴール。森、三浦も同25位以内に入った。このほか二グループに分かれ、ペースメイクした三須健乃介（4年葦山）、畝拓夢（同倉敷）、大森太楽（同鳥取城北）、手島駿（3年国学院久我山）、中澤雄大（2年学法石川）加井虎造（4年西脇工）らが63分以内。全参加選手中73位でチーム10番目の主将池田勘汰（同玉野光南）も63分05秒でゴールした。総合順位は1位順天堂大に続く2位で見事、予選を通過した。

◆軸は1年生エース吉居

今年の中大チームは勢いがある。1年生エース吉居は5千、1万円で好記録を連発。7月に5千円で1分32秒のジュニア新記録を打ち立てた。9月の日本インカレ（新潟）では気温30度近い中、5千円で1年生ながら堂々の優勝。中大勢の優勝は60年前の名選手横溝三郎さん（横浜）に遡る。1年生のガンバリは上級生にも影響する。「新入生に負けられない」と記録会、タイムトライアルで調子を上げた。元々、現4年生、3年生は入学当初から「彼らが上級生になる頃

は箱根優勝も」と言われた年代だ。

◆質量そろい、厚い選手層

その4年生は池田、畝、三須、大森、加井、川崎新太郎（水口東）、矢野郁人（須磨学園）。いずれも1万円で28分台、29分台前半の記録の持ち主。3年生は三浦、森、石田光輝（札幌山の手）、井上大輝（須磨学園）、2年生は中澤のほか、今年の箱根1区を走った千守倫央（松山商業）、6区山下り若林陽大（倉敷）、高校時代から実績ある梶山林太郎（世羅）、小木曾竜盛（葦山）、助川拓海（水城）がいる。

1年生には吉居、予選会を走った園木大斗（開新）、湯浅仁（宮崎日大）、高校時代に全国都道府県駅伝1区で吉居と1、2位を争った中野翔太（世羅）、居田優太（草津東）、伊東大翔（国学院久我山）、羽藤隆成（今治北）もいる。全員1万円で29分台で走る。全年代とも質量がそろい、選手層は厚い。

◆期待高まる 箱根本番

箱根は10区間で選手登録は16人。中大は登録選手の1万円で、ハーフマラソンの持ちタイムは箱根出場20大学の中で、優勝候補と目される東海、駒澤、青山学院、東洋と肩を並べる。吉居、大森、三須、千守、三浦、中野は28分35秒前後の記録を持ち、上位10人の合計タイムでは大学別トップクラスにある。この記録に加え、箱根予選会の好走は各大学に「中大恐るべし」を印象付けた。現在、長距離チームは43人。1万円で28分台は6人。30分切りは30人を数える。首脳陣も「ここ数年ない充実ぶり。他大学に十分対抗できる。箱根は思い切りやる」と意欲をのぞかせる。

◆うれしい悩みのメンバー選定

16人の登録メンバー選定に指導陣は悩みそう。今後、故障、けがとともになく、あの「コロナ」クリアを前提に現段階（10月末現在）で予想する。予選会で中大選手中10位に入った池田まではほぼ確実視される。このほか経験者の川崎、千守、若林が入ると13人。残る3人を矢野、井上、小木曾、梶山、小林龍太（農大二）、助川、中野、居田、伊東、園木、湯浅、羽藤らが線上。誰が入ってもおかしくない実力者ばかりだ。

ここまで中大だけを見てきたが、箱根出場20大学はどこも虎視眈々と優勝を狙う。前述した東海、駒澤、青山、東洋はもちろん、早稲田、国学院、帝京、同じ予選会からの順天堂を含め強豪校ばかり。まさに「戦国駅伝」の様相である。

今年の中大には、久しぶりにこれまでにない「力」を感じる。正月は「箱根」から目が離せない。



10月17日箱根予選会で、陸上自衛隊立川駐屯地の周回コースを力走する選手達

スーパー1年生に注目集まる



「スタート前から、二人の“スーパー1年生”に注目が集まっていた」と語るのはスポーツ紙陸上担当記者。「まず順天堂大の三浦龍司。桐生祥秀（24）と同じ京都・洛南高卒で、3000メートル障害の高校記録保持者です」7月に北海道で行われた大会の3000メートル障害では20歳以下の日本記録をマーク。そして、この大会の5000メートルで同じく20歳以下日本記録を出した男が中央大のこちらも1年生、吉居大和（写真）である。仙台育英出身。東京五輪男子マラソン代表の服部勇馬（26）の後輩ですね。全国高校駅伝では同校の優勝に貢献しました」二人の活躍もあり、両校はめ

でたく予選を突破した。

本番でも活躍が期待されるスーパー1年生たち。無観客ゆえお茶の間に声援を。

◆箱根駅伝予選会結果

1位	順大	10時間23分34秒（10年連続62回目）
2位	中大	26分13秒（4年連続94回目）
3位	城西大	29分37秒（2年ぶり16回目）
4位	神奈川大	29分59秒（11年連続52回目）
5位	国士館大	30分38秒（5年連続49回目）
6位	日体大	30分49秒（73年連続73回目）
7位	山梨学院大	30分50秒（2年ぶり34回目）
8位	法大	33分31秒（6年連続81回目）
9位	拓大	33分46秒（8年連続42回目）
10位	専大	33分59秒（7年ぶり69回目）

※10位までが本大会出場

“白門りんごの会収穫体験&桜植樹式

新型コロナで年度中止！！”

白門りんごの会 会長 松木 茂夫

2020年9月実施予定の「りんご収穫体験&友好の桜植樹式&東日本大震災復興状況視察」は、新型コロナ感染状況の収束が不透明な中、冬の到来を待たずに、秋口にかけて第二波・第三波の感染拡大が起きる可能性が十分に予測されている、又、新生活様式に移行したが「三密状態」は避けられない、（距離をあけて・マスク着用・手洗いの励行・大皿料理から個別料理へ・対面不可等）長時間の新幹線・観光バス移動等感染リスクは避けられない。通常的生活様式にいつ戻れるのかも不透明である等の状況により、参加者が心配しながらではなく、安心して・気兼ねなく・楽しみながら安全に参加できることを最優先として考え、苦渋の選択ではありますが今年度中止を決定いたしました。



仮植樹場所にて2020年4月撮影

皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご参考（2021年度予定）

白門りんごの会は、2021年に発足10年となります。

三戸町町興しの一環として、三戸町に桜の苗木を寄贈し「友好の桜」としての記念植樹を、もう一つの目的である、東日本大震災復興支援の復興状況視察の為、初めて岩手県を訪問する予定です。

一日目：東京駅発（はやぶさ1号）二戸駅着（三戸町

ねこバスで移動）→三戸町「城山公園」友好の桜植樹式 →収穫体験（白門りんごの会りんご園地）→三戸町産直市場

→二戸駅（はやぶさ28号）→盛岡駅着（市内泊）

2日目：ホテル発（三八五交通観光バス）→宮古市津波遺構（たろう観光ホテル）→大船渡市（復興食堂にてランチ等）→陸前高田市（東日本大震災津波伝承館）→仙台着（はやぶさ32号）→東京着

！！白門りんごの会「友好の桜」桜植樹に賛同者多数！！

白門りんごの会は、明年10年を迎えるにあたり、皆様方から記念に残るイベントを実施して頂きたいとのご提案があり、りんごの会に寄せる皆様方の熱き思いを桜に託したいと考え「友好の桜」として植樹を企画いたしました所、多くのご賛同を頂きました。心から感謝と御礼を申し上げます。

“弊会会員108名（6/1現在）内ご賛同者74名・協賛金845千円（目標額400千円）”

下記の通り三戸町に協賛金845,000円全額を寄贈させて頂きました。

今年9月予定の植樹式は、新型コロナ感染拡大により中止とし、来年2021年9月に実施する事と致しました。時期が来ましたらご案内いたしますので多数のご参加をお待ちしています。

サラリーマン川柳 ベスト10 作品

(第一生命保険：サラリーマン川柳コンクール上位10作品)
2020/6/1読売新聞掲載

1. 我が家では 最強スクラム 妻・娘
2. パブリカを 食べない我が子が 踊っている
3. 話聞け！ スマホいじるな！ 「メモですが」
4. おじさんは スマホ使えず キャッシュです
5. タバコ辞め それでも妻に 煙たがれ
6. 足りないの？ そもそも無いよ 2000万
7. 登録が ストレスだらけの キャッシュレス
8. ジジババも 子育て参加 ワンチーム
9. ギガバイト 時給いくらか 孫に聞く
10. 「早よ、帰れ！」 言ってる上司が 帰らない

※第一位と第八位には日本で初開催のワールドカップにちなんだ作品が選ばれた。

※普及が進むキャッシュレス決裁への困惑を詠んだ句が第四位と第七位に入った。

※20歳・30歳代はSNSにちなんだ作品への投票が多く、40歳代以上はデジタル化への戸惑いに関する句に人気が集まったと分析。

▼ 新型コロナ下での生活の変化

山田 信昭 (S46年卒)

新型コロナが日本国中に蔓延してから約10か月以上経とうとしています。昨今、私の生活にも変化が起こり始めました。新型コロナ禍以前は、現役を退いてからも平均して月に10日間位は電車での外出をしていましたが、3月頃から今日まで2、3日位しか有りません。

大袈裟かもしれませんがスイカの使い方に戸惑う事が有りました。又、外出して他人との接触が無い為(話す機会が無い為)言葉の使い方や単語の使い方に戸惑う事が有ります。

これは決して認知症の兆候では有りません(念の為)。私は普段は話下手、会話下手ですが、この頃で

は家族の人以外の人々と会って話をしたいと思う今日この頃です。

最近、ふと立ち寄った本屋で「クロスワード」「間違い探し絵」「英字クロスワード」等の「パズル」を集めている雑誌を探しました。早速購入して、これがなかなか面白くはまってしまいました。学生時代に戻ったかのように、国語辞書、漢和辞書、英和辞典、和英辞典等、

それこそ50年以上前に使った各辞書、辞典を悪戦苦闘して調べています。この様な行動は認知症予防にも良いかと思ひ今後も続けて行くつもりです。

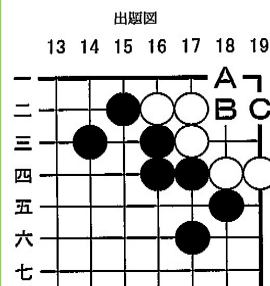
この先、新型コロナの進展は分かりません。皆様お互いに体には気を付けて又お会いできる日を楽しみにしています。

▼ こんな本を読みました

森山 功 (S40年卒)

外出自粛で久しぶりに本を手に入！瀧本哲史「戦略がすべて」、出口治明「還暦からの底力」、鎮目守治「21世紀の俺」、千葉敦子「死への準備日記」、玉井文太郎「河伯洞余滴」など。千葉の壮絶な生きざまに軟弱な自分を反省。玉井の父火野葦平に共感。瀧本哲史惜しい人が若死して残念に思う。

★ 酒巻忠雄の囲碁クイズ ★



《囲碁出題》

黒番です。白を殺す手は？

《囲碁・クイズ》

今年、初の七大タイトル「棋聖」を獲得した一力遼棋聖の実家は地方紙の社主です。新聞社名は？

イ) 河北新報 ロ) 新潟日報
ハ) 信濃毎日新聞

出題者～酒巻 忠雄 (8段) 昭和39年卒 解答は8面)

中央大学「川崎支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します (卒年順に掲載)

城南予備校

(川崎区駅前本町22-2)
代表取締役 下村 勝己
(昭和52年卒)

株式会社TRAアート

代表取締役 茂岡幹弥
(昭和53年卒)
東京都中央区新川2-7-15林ビル4F

田賀法律事務所

所長 弁護士 小林喜浩
(昭和59年卒)
東京都中央区銀座7-2-22同和ビル

川崎エース法律事務所

弁護士 大橋 賢也
(平成6年卒)
川崎区砂子1-10-2ソシオ砂子302

道しるべ法律事務所

弁護士 矢口統一 (平成7年卒)
川崎市川崎区砂子1-5-1KJ砂子ビル4階
Tel 044-211-1115/moto.yaguchi@gmail.com

行政書士 志水法務事務所

志水 晋介 (平成11年卒)
渋谷区渋谷2丁目2-4
青山アルコープ411

学生が詠む「コロナ禍川柳」

新型コロナウイルスの影響を受けた学生たちがオンライン事業（遠隔授業）が続いた前期授業の日々を川柳に読んでいる。

学生たちのキャンパスライフはコロナ禍で一変した。ユーモアと悲哀に満ちた川柳である。

（2020/9/1日経新聞（夕刊）掲載記事より抜粋）

「関西大学」

- . 忘れてる . 提出期限と 通学路
- タイピング 上達したが 口下手に
- 足りてない 金と会話と 太陽光
- 繋がらぬ ネット回線 人づきあい
- 寝巻でも カメラオフなら 許される
- 鉛筆と アイス片手の オンライン
- 買うべきは 化粧品より 安カマ

- リモートで しっかりつくのは 脂肪だけ
- 新習慣 事業の前の 部屋掃除
- おかしな 先生ミュートに なっていませんか
- 見続ける ブルーライトが 目にいたい
- 課題せよ 確認せよの メールだけ
- 帰省して いない下宿に 金払う
- 「聖学院大学」
- オンライン 課題多すぎ 頑張った
- 課題の山 大学行くより 過酷かな
- コロナ禍で 知らぬ自分が 見えてきた
- 向き合った コロナの期間 無駄じゃない
- オンライン 最近やっと慣れてきた
- マイパソコン 妹にとられ 我スマホ
- あたりまえ 実はそれって 宝物
- 自粛中 やりたいことが 見つかった
- 将来は 世界各国 旅する
- 毎時間 課題提出 無理がある
- 課題中 ゲームの通知が 気になって
- 頑張った ただ家にいる それだけで

- 18歳と81歳の違い
- “囲碁編”が酒巻忠雄八段から寄せられました
- “昭和の定石”知らないのが18歳 完全に忘れたのが81歳
- プロの指導碁で負かされるのが18歳 勝たせて貰えるのが81歳
- インターネットで打つのが18歳 福祉センターで打つのが81歳
- 囲碁大会に勇んで出るのが18歳 人数合わせで出るのが81歳
- 藤沢といえば「里菜」と答えるのが18歳 「秀行」しか知らないのが81歳
- 免状には無関心なのが18歳 高額免状を後生大事にしているのが81歳
- 対局中、長考するのが18歳 居眠りしているのが81歳
- 「週間碁」を読んでいるのが18歳 「墓苑」のパンフを見ているのが81歳
- 終局後スマホをチェックするのが18歳 トイレに駆け込むのが81歳

▼「コロナに思う現状」

（S44年卒 岩渕義昭）

今年は「新型コロナウイルス」が発症し流行が広がり見せ始め収まる兆しが見えません。

学会本部からも会合等中止要請がありました。県下支部・白門会の行事も全て中止や延期を余儀なくされました。支部の友好を高めるための、ハイキング、ゴルフ大会、川崎港港内視察等の諸行事も中止せざるを得なくなり残念に思います。

このような状況下で、皆さんは自宅に籠りばなしでおられるのでしょうか。自宅でお酒を飲んだり、外に出て散歩をしておられるのでしょうか。退屈しのぎの為何か決めておられますか。このような中で、私は「大腸の定期検査」があり、検査した結果、大腸にポリープが4か所見つかり、すぐ切除しました。このため、好きなお酒も禁酒期間が長く続き、楽しみが少なくなりました。この夏には沖縄旅行を計画しておりましたが、来年に更

しました。

この暇な時期に何もすることがないので、川崎にある神社やお寺・教会の事を調べる作業をしております。近くの神社・仏閣に行き祭典や宗派等を聴き歩いております。

一日も早く「コロナ」被害が、解消されることを願っております。

皆様のお元気な顔を見られることを楽しみにしております。

令和2年 年末懇親会について

川崎支部の皆様へ

支部長 松木 茂夫

12/12（土）総会・学術講演会・車椅子贈呈・懇親会（兼忘年会）新型コロナ感染症により**中止決定**

新型コロナ感染症が依然として拡大傾向にあります。又「新しい生活様式」に移行致しましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて6月迄すべての会（三役会・役員会・各種行事等）を中止しておりましたが6/末になり落ち着くかと思いきや東京・神奈川・近県は依然として新規感染者が増加傾向にあります。

今後の予定につきましては支部長として下記の通りといたしたくお願い申し上げる次第です。会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※ご意見・ご質問等については支部長松木茂夫迄メール・TEL等でお寄せ下さい。

携帯090-2764-6269

PCアドレスma20shi05@kxe.biglobe.ne.jp

1. 12/12（土）川崎支部総会・講演会・車椅子贈呈・懇親会（忘年会兼）中止について

（6/13（土）の総会等を12/12（土）忘年会と同時開催に延期中）

2. 支部長提案に対する役員会での承認事項

※支部長として参加者の安全・安心を最優先として苦渋の決断をしました

※新型コロナ感染症の現状と見通し※参考「新しい生活様式」の実践例（厚労省のHP参照）

(1) 規約にはないが緊急事態と支部長が判断し、総会中止について役員会での承認による特例扱いとしての対応と致しました。（7/10承認済）会員皆様には是非ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(2) 総会の中止はHP・会報31号11/1発行予定にて会員の皆様へお知らせ予定。

(3) 総会議案などは会報30号（2020/6/1発行済）にて掲載報告済である。

(4) 総会の延期（6/13→12/12）については役員会の特例扱いで既承認済。（会報第30号2020/6/1報告済）

3. 中止決定の経緯

(1) 緊急事態宣言解除後に冬の到来を待たずに秋口にかけて再び第二波・第三波の感染拡大が起こる可能性が充分予測される。7月に入り急拡大中。（北九州・北海道・東京・神奈川・埼玉・千葉等）

(2) 「新しい生活様式」（自粛要請から各個人の自己防衛手段に変更）に移行したが、依然として感染拡大が継続しており収束がまったく不透明な状況にある。

(3) 「新しい生活様式」に移行しても三密状態は避けられない。（距離を開けて・マスク着用・手洗いの励行・大皿料理から個別盛り付け・対面不可等々）通常の生活様式にいつ戻るのが不透明。

(4) 会議・講演会・懇親会等会場確保が物理的に難しい（3密を避ける対応例100人の会食では200人以上入れる会場が必要）・ビュッフェス不可・個別盛付料理・横並び席・お酌不可・おしゃべりは控える等コスト高）

(5) 第二波・第三波になった場合他キャンセルも難しくなり準備が間に合わない。

(6) 心配しながらではなく、安心して・気兼ねなく・楽しみながら参加出来る行事・会議・懇親会等にしたい。

(7) 参加者は比較的高齢者であり、重症化する可能性もあり、リスクがある時期はあえて避けるべき。

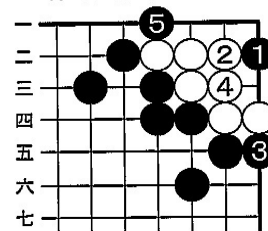
(8) 日本以外の海外の感染状況はいまだ拡大傾向にある。（中国再拡大・ブラジル等々今後も拡大可能性ある）

(9) ワクチン・治療薬の開発に時間がかかり、年度内普及・実用化は難しそうな状況である。

4. その他

今後の**各種行事は原則中止**とします。尚三役会・役員会は必要に応じて**電話・メール等非対面**での開催予定 以上
(2020年7月吉日)

13 14 15 16 17 18 19



酒巻忠雄の囲碁

クイズ解答（問題は4面）

① 黒cで白死にです

② イ 河北新報

出題者・酒巻忠雄様から“18歳と81歳の違い”囲碁編を投稿いただきました。P7に掲載しています。